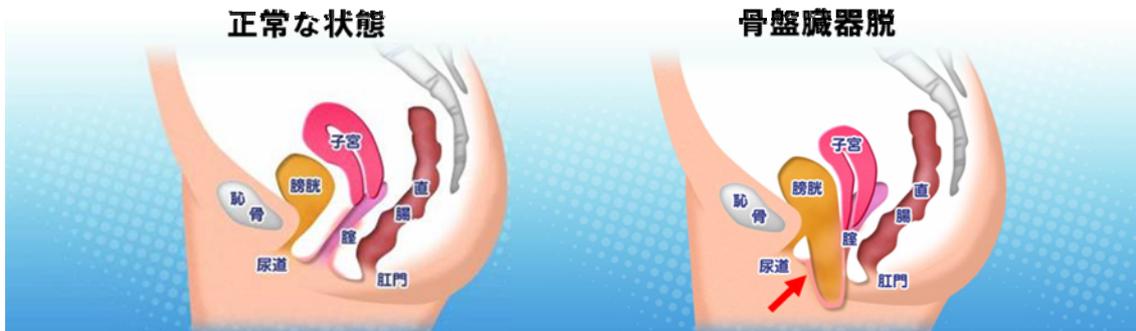
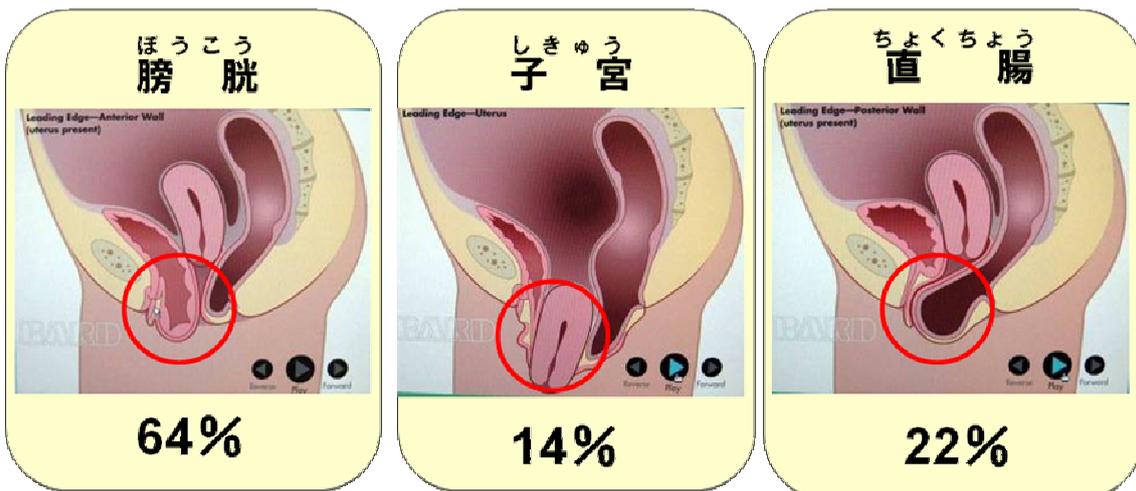


こつばんぞうきだつ 骨盤臓器脱とは？



こつばんぞうきだつ しきゅう ぼうこう ちよくちよう
骨盤臓器脱とは子宮、膀胱、直腸などの骨盤内の臓器
 が膣から下垂し、でてくる病気の総称。以前は、子宮脱
しきゅうだつ
 ぼうこうだつ ちよくちようりゅう
 、膀胱脱、直腸瘤などといわれていた。

何が下がってくるの？



- ・ 下がってくる臓器(ぞうき)は膀胱(ぼうこう)が多い(64%)
- ・ 子宮がさがってくる方は14%と意外に少ない

おしっこがちかくなったり、出にくくなったり、もれたりすることがあります。

骨盤臓器脱の治療とは？

答え：大きく分けて2種類です

ペッサリーによる治療



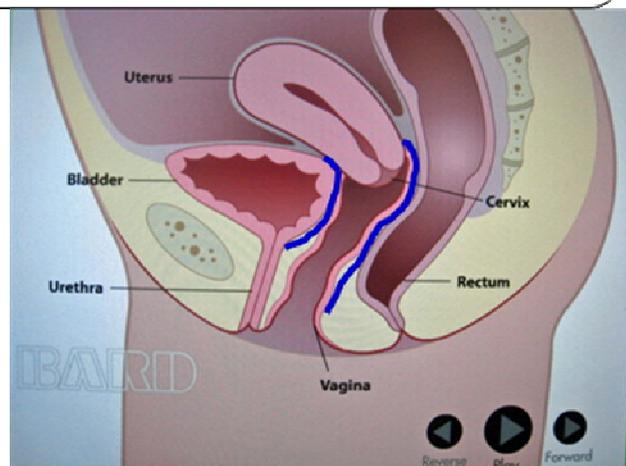
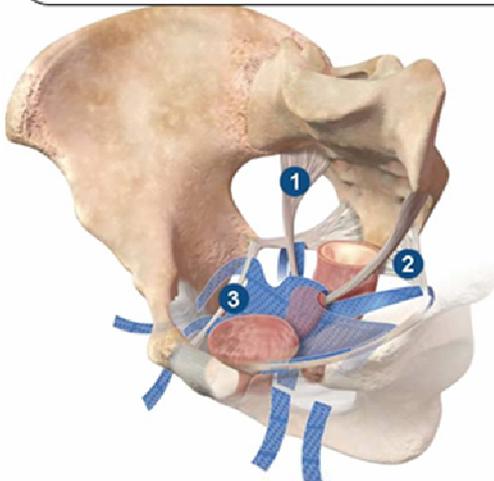
対症療法であり、違和感、痛みを伴うことがある。出血、感染などのリスクもあり、長期的な治療は難しい。

手術による治療



唯一の根本的な治療である。

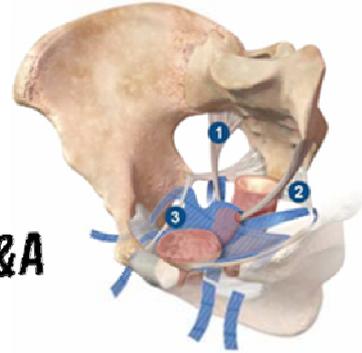
従来の手術は基本的に子宮をとる必要があり、せっかく治療しても30-50%の方が再発していました。最近では、子宮をとる必要がなく、再発の極めて少ない画期的な手術が普及しつつあります。それが**ポリプロピレンメッシュをもちいた子宮温存の低侵襲手術であるメッシュ手術(TVM手術)**です。



膣を切ってメッシュを膣の前と後の壁に挿入し、左の図のようにハンモックをつくることで子宮を温存し、子宮、膀胱、直腸を支えることで骨盤臓器脱を治療します。

骨盤臓器脱の 専門医に聞く！

もっと知りたいメッシュ手術Q&A



Q. メッシュはとけないのですか？

A. メッシュは一般の手術のときに、血管を縫うプローリンという糸を編んでつくっています。これは非吸収性でとけない糸ですので、メッシュもとけません。当然、手術でつかわれる糸なので、とけなくても体に害をあたえることはありません。

Q. メッシュがどのようにして臓器をささえるのですか？

A. メッシュのまわりを患者さん自身の細胞がとりかこみ、人工の筋膜のようになることで、骨盤臓器をささえます。メッシュはとけない素材で、のびないので、骨盤臓器をささえることができます。

Q. メッシュはどこに固定するのですか？

A. メッシュにはアームといわれる部分があり、骨盤の中の靭帯を脚が貫くようにして固定します。このアームは、縫って固定するものではありません。メッシュは表面がざらざらしているので、メッシュの脚が靭帯の中を貫くことで固定されます。しかしながら、初めのうちは固定が十分でないので、術後1ヶ月程度は激しい運動をしないようにします。

Q. 再発はしないのですか？

A. この術式はまだ、7年程度のデータしかないので、長期成績は不明ですが、おそらく従来の方法と比べてかなり低くなるのが予想されます。短期のデータでは再発率は5%以下といわれています。

Q. そけいヘルニアもメッシュ手術をするときいたのですが？

A. その通りです。もともとそけいヘルニアでは30年以上前からメッシュ手術が行われていて、メッシュを使わない方法よりメッシュ手術のほうが有効性も安全性も高いということが証明されています。そけいヘルニアに使用するメッシュより軽くしてしなやかなメッシュが骨盤臓器脱では使用されます。

Q. 手術時間はどのくらいですか？

A. 手術時間はおよそ1時間30分くらいです。従来法では3時間くらいかかっていたのでかなり短縮されています。

Q. メッシュ手術は難しいのですか？

A. 基本的にはメッシュ手術は難しい手術ではありません。ただし、メッシュを正しい位置に、正しいゆきで置くことが必要です。ここに多少の熟練を要します。これを正確に行わないと、骨盤臓器の支えが不十分であったり、再発したりします。

Q. メッシュ手術に特有の合併症ってあるのですか？

A. メッシュが傷口からでてくるメッシュびらんという合併症があります。頻度は1-3%程度といわれています。メッシュびらんとはエストリールという女性ホルモンの内服で治療します。半分からはこの治療でよくなります。この治療でも改善しない場合は麻酔をかけて、メッシュを一部切り取って皮膚をぬうこともあります。その他のメッシュに特有の合併症は、メッシュ感染ですが、メッシュの改善でメッシュ感染はほとんどみられません。

Q. その他の一般的な合併症についても教えてください？

A. 出血、血腫、痛み、発熱、深部静脈血栓症、残尿、排尿困難などが起こりうる合併症です。しかしながら従来法とくらべてこれらの頻度は大幅に減少しております。

Q. 入院はどのくらいですか？

A. 前日に入院して、翌日手術、3日目におしこの管を抜きます。問題なければ約1週間で退院です。

Q. メッシュ手術ってお金がたかいのですか？

A. メッシュ手術が高いということはありません。従来法と同じです。メッシュ手術は健康保険が適応されます。

Q. 子宮はとらなくてはいけないの？

A. メッシュ手術は子宮をとる必要はありません。最近では子宮を取らない方が合併症が少ないというデータもしております

Q. 以前子宮をとっていますがメッシュ手術はできますか？

A. メッシュ手術は以前に子宮をとられた方にも十分対応できます。そのような方には従来法ではかなり難しい手術になるのですが、メッシュ手術では、問題ありません。

Q. 尿もれの治療も同時にできますか？

A. 骨盤臓器脱と尿もれの治療を同時に行うかについては、未だに議論がわかれるとことです。症状や病態などで、ケース・バイ・ケースで判断します。担当医と相談してください。